

あゆみえん

vol.118

令和8年
新春号



ごあいさつ

新年おめでとうございます。

池上本門寺に参拝後、今年もいずみえんの皆様と一緒にいずみえん屋上にて初日の出を仰ぎながら新しい年を迎ました。その後、こぶしえんの皆様に挨拶に伺い、目黒不動尊、大鳥神社を参拝しました。

社会福祉法が2000年に施行されてから四半世紀が経過しました。1951年に社会福祉事業法が施行され、およそ50年が経過したところで社会福祉法は施行され、いまは当たり前となった介護保険法が成立しました。措置から契約への名の下、デイサービス、ショートステイ、訪問介護と介護サービスも拡大・充実されました。保育所も幼保一元化の名の下、子ども保育園ができました。介護保険導入の頃、新聞で介護保険料が月額千円で高額だという記事を目にしましたが、月額千円の介護保険料で購入できる介護サービスって一体どんなものなのだろうと思った次第です。その頃アメリカの経済学者ピーター・ドラッカーの本がトレンドで、組織の寿命50年を人間の働く期間がそれを超える時代がやってきましたとありました。組織の寿命が50年なら、制度の寿命もその旬は50年程度なのかもしれません。

徳心会は非営利組織である社会福祉法人として介護サービス、障害者サービス、保育サービス等を手がけています。現在では、株式会社も同様のサービスを展開しています。現在の社会福祉法も50年で旬を過ぎるかもしれません。今後四半世紀を見据えて徳心会をどうするのか、今年はじっくり考えてみたいと思います。

令和8年正月

理事長 関根陸雄



法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



徳心会 研修レポート

徳心会では今年度、各役割に応じた研修計画に基づき、人材育成を進めてきました。介護サービスは職員一人ひとりの力によって支えられており、研修はその力を高める大切な機会です。新人研修に加え、多様な役割の職員を対象に学びの場を設け、自身の使命を見つめ直し成長につなげる取り組みを重ねています。こうした育成の積み重ねが、法人全体の成長とサービスの質向上につながっています。



■ 管理職研修

(28名／2泊3日・
5月13日～5月15日)

課長および係長から選抜された職員が、日常とは異なる山の環境でミッションに挑みました。知識が通じない状況で判断し協力する中で、リーダーに求められる主体性と判断力を養いました。

■ 指導者研修 (28名／1泊2日・9月17日～9月18日)

将来を担う若手リーダー・係長が選抜参加し、現場経験を基に指導者としての基礎を学びました。施設を跨いだ意見交換を通じ、新たな視点を得て行動計画づくりに活かしました。



■ 幹部候補者研修

(37名／1泊2日・
10月1日～10月2日)

法人の中核を担う管理職が一堂に会し、職員622名のアンケートを基に現状を分析しました。課題と解決策を整理し、今後の運営に向けた重点方策をまとめ、主体的に課題へ向き合う姿勢を高めました。



師走恒例！もちつき大会

あゆみえんでは年末恒例の餅つき行事を行いました。あゆみ保育園の子供たちも参加し、元気いっぱいの声が響くにぎやかな催しとなりました。杵を振り上げる子どもたちに、ご利用者の皆さまも笑顔で声援を送り、一緒に「よいしょ～」と声を掛け合いました。世代を超えた交流により懐かしさと温かさが広がるひとときとなり、年末らしい和やかな時間を共有することができました。

介護事業部第四課 中村あゆみ



クリスマス会



今年もあゆみえん新町の里にてクリスマス会を開催しました。当日はあゆみ保育園の子どもたちも参加し、会場は笑顔と歓声に包まれました。子どもたちによる元気いっぱいの歌やダンスが披露されると、ご利用者から自然と手拍子が起り、楽しい交流のひとときとなりました。サンタクロースの登場に子どもたちは喜び、ご利用者は温かいまなざしでその様子を見守っていました。世代を超えて触れ合うことで、心の通う思い出深いクリスマス会となりました。

介護事業部第二課 大野 斗哉

あゆみ保育園だより



新しい年のスタートです。今年も、子どもたちと一緒に笑顔で園生活が送れるよう、子どもたちの思いを受け止めながら、職員一同力を合わせて保育していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。



1月6日の新年の集いには保育園に立派な獅子舞が登場します。ご利用者の方もお誘いし子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしていただきたいと思っています。獅子舞には幸せを招くと共に厄病退治や悪魔払いの意味があり、獅子に頭をかまれるとその年は無病息災で元気に過ごせるという言い伝えもあります。今年一年、みんなが幸せに過ごせますよう、子ども達と獅子にお願いしたいと思っています。

あゆみ保育園 園長 濱中美穂

青梅紹介

デザインマンホール

近年、地域に関わる物や、アニメやご当地キャラクターなどをデザインした「デザインマンホール」が注目されています。2025年6月からはメジャーリーグで活躍する大谷選手はじめ日本人野球選手12名のゆかりの地に、選手一人ひとりの軌跡がデザインされたマンホールが順次設置されています。単なる下水道管理用の蓋ではなく、地域の「作品」となったことで、観光客の誘致や地域の認知度アップにつながっています。



青梅市のデザインマンホールには青梅市公式キャラクター「ゆめうめちゃん」が描かれています。市の花である梅の花のステッキを持ち、着物には多摩川・ウグイス・花火など市の名物が描かれています。設置場所は御岳登山鉄道御岳山駅や吉野梅郷梅の公園など、市内の観光地や、市民に親しまれている場所計9ヶ所です。試しにあゆみえんに比較的近い、わかぐさ公園を探してみました。約6ヘクタールの広い園内に「普通の」マンホールは案外たくさんあり、15分程歩いてようやく探し当てました。新しい年、気分も新たにデザインマンホール探しはいかがでしょうか。

総務課 福岡直子

□ あゆみえんインフォメーション □

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 0428-30-5550

あゆみ VOL.118

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570

発行人 統轄園長 坂本孝明
編集人 広報委員長 岸田和代
発行日 令和8年1月15日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
H P <https://tokushinkai.jp/>



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクをはずしております。

新年あけましておめでとうございます。2026年の干支は“丙午”。60年前には「丙午生まれの女性は気性が激しく、夫の寿命を縮める」といった迷信の影響で出生数が大幅に減少したそうです。編集作業の中でちょっとした雑学が学べるのも広報づくりの楽しさだと感じました。今回の“丙午”、皆さんにとって穏やかで良い一年になりますように。



介護事業部第4課 課長 岸清孝